

富山市斎場再整備事業
募集要項等への質問への回答(第1回)

平成30年8月
富山市

No	文書名	タイトル	該当箇所					質問	回答	
			頁	項目						
1	募集要項	応募者の構成等	7	3	(1)	2)	ア	f	「火葬炉運転業務及び火葬炉業務を除く運営業務～」とありますが、この火葬炉業務は火葬業務のことで間違いないでしょうか。	お見込みのとおりです。募集要項を修正します。
2	募集要項	著作権	11	3	(2)	4)	①		提案書類の公表が必要となった場合、公表内容について事前協議の機会を頂きたい。	公表内容については事前に協議します。
3	募集要項	別紙2(リスク分担:建設段階/地下埋設)	26						地下埋設物(あらかじめ想定しえない地下埋設物)の顕在化による費用増額、遅延リスクは市となっておりますが、公開資料に記載のない場合も含むと考えてよろしいですか。	公開資料の記載の有無にかかわらず、あらかじめ想定できるか否かを判断します。したがって公開資料に記載のない場合であっても、合理的に想定可能な地下埋設物の顕在化による費用増加、遅延のリスクは事業者の負担となります。
4	要求水準書	第1章総則5適用法令・基準	4	5					「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」とあるが建築設備耐震計画は下記の通りでよろしいでしょうか。 ①電力確保:非常発電機を計画(要求水準に記載) ②給水機能の確保:受水槽を計画。 ③排水機能の確保:汚水排水槽等は設けない一般排水計画。 ④空調機能の確保:発電機系統の空調運転。	『官庁施設の総合耐震・対津波計画基準 2.2.4建築設備の耐震安全性確保』(以下「基準」といいます。)の項目についての質問と理解しますが、各項目に対応した計画の内容については、基準の目的、記載内容をすべて達成する計画としてください。 ①については、ご記述のとおり、要求水準に記載した内容に沿って計画してください。 ②については、基準の記載に従い、ライフラインの途絶に備え、必要とされる飲料用水及び雑用水を相当期間分確保するための計画を提案してください。ご記述の点も対応策の一つとして一般に挙げられています。 ③については、敷地外への放流が不能となった場合でも相当期間の排水機能の確保など基準の記載に従った提案をしてください。 ④については、ライフラインが途絶した場合、その復旧が見込まれるまでの相当期間に必要な熱源用エネルギーの量を確保することなど基準の記載に従った提案をしてください。ご記述の点も対応策の一つとして一般に挙げられています。
5	要求水準書	災害時対応	5	7	(1)				「3日間の火葬件数に対応できるよう・・・」とありますが、3日間の火葬件数とは、最大22件/1日×3日間=66件(3日間)と考えて宜しいでしょうか。	「3日間の火葬件数」としては、過去の平均火葬件数13件×3日間を想定しています。常時確保を求めている燃料2,000ℓは、過去平均火葬件数約13件/日×現在の火葬炉の使用燃料50ℓ/件×3日間により算出したものです。 要求水準として常時備蓄を求める燃料量は、本市の示す「概ね2,000ℓ以上とし、具体的には事業者の提案に委ねます。
6	要求水準書	排水について	7	1	(1)				立地条件、排水「敷地内2か所に農業集落排水公共樹あり」とありますが、当該樹は既存建物用として使用されており、新築建物からの排水計画が困難な場合、新規公設樹を設け、農業集落排水に接続できると考えて宜しいですか。	新規公共樹が必要となった場合は、別途農村整備課との協議が必要となります。 なお、新規公共樹を設置する提案をされる場合は、設置に要する工事費用を施設整備費に計上してください。
7	要求水準書	延床面積	8	1	(4)				延床面積3,320㎡以上とあるが、動線などを効率的に計画すればコンパクトに計画できることが想定されます。3,320㎡程度としていただけないでしょうか。	コンパクトな施設を計画する際には、動線の効率化と合わせ、利用者の利便性を損なわないよう配慮した、最適な施設面積の提案を期待します。 要求水準書の延床面積については「3,320㎡程度」に修正します。

No	文書名	タイトル	該当箇所					質問	回答
			頁	項目					
8	要求水準書	駐車場および車寄せ関連	8	1	(4)			大型バス(路線バスなど)の乗り入れは無いものと考えてよろしいでしょうか。	大型バスの乗り入れ頻度については極めて限定的といえるため、新斎場へのバスの乗り入れは中型バスまでを想定していますが、大型バスの乗り入れ対応については事業者の提案に委ねることとします。 路線バスの乗り入れ等に関しては、バス事業者と別途協議することになりますが、路線バスについては斎場が終点であり、斎場以外に折り返せる場所がないことも踏まえると、現状に近い利用ができることが望ましいと考えます。 なお、路線バスの大きさはL=9~11m程度であり、中型バスと同程度であることを確認しています。
9	要求水準書	駐車場および車寄せ関連	8	1	(4)			中型バスとは、マイクロバス(29人乗り)と考えてよろしいでしょうか。	バスの一般的な大きさとして、マイクロバスはL=7m、W=2.1m、H=2.6m。中型バスはL=9m、W=2.5m、H=3.7m程度と認識しています。(路線バスの大きさはL=9~11m程度であり、中型バスと同程度であることを確認しています。)
10	要求水準書	導水管について	20	4	(5)			北陸電力導水管荷重影響範囲内(添付資料に示す。)には建物を建築しないこととありますが、上空利用は可能でしょうか。	北陸電力導水管荷重影響範囲の上空利用について、恒久施設の場合は原則認められません。導水管のメンテナンス工事等(北陸電力用地内の開削工法による工事の可能性もある)に支障のないことが前提となります。そうした前提を踏まえた上で、上空利用を提案する場合は、具体的には北陸電力株式会社との協議が必要です。提案後の設計変更が必要となることも見込んだ上で提案してください。
11	要求水準書	導水管について	20	4	(5)			「北陸電力導水管荷重影響範囲内(添付資料に示す。)には建物を建築しないこととありますが、上部土中部分を、給排水管などのインフラ設備横断ルートとして使用して宜しいでしょうか。	導水管の維持管理のため、上部を掘削する可能性があります。給排水管等のインフラ設備は、その際の支障物となるだけでなく、斎場の運営自体に支障をきたすため、添付資料の導水管荷重影響範囲内は原則使用不可能と考えてください。
12	要求水準書	第2章施設整備業務要求水準5建築付帯設備要件	23	5	(3)	⑧		既存井戸はないものと考え、消雪用井戸は新設するものと考えてよろしいでしょうか。	現斎場の一部の施設は、既存の井戸から給水を行っていますが、当該井戸は老朽化していますので、利用しやすさも含めて、新設は事業者の提案に委ねます。既存井戸の位置は、別途公表する資料5-1の修正版を確認してください。
13	要求水準書	使用燃料	24	6	②	イ	(ア) d	使用燃料は「灯油とする」とありますが、代替燃料など別の燃料を提案することは可能でしょうか？ご教示ください。	代替燃料の使用が、市の財政負担の軽減や市民サービスの向上等に資するものであれば可とします。 ただし、火葬の安全性と確実性が担保されることが前提となります。 灯油以外の燃料を提案する際は、燃料の種類、使用方法を明確にしたうえで、提案書類中の適宜の場所に、①安全性の説明、②供給の安定性及び確実性(入手ルート等)、③不測の事態への対応策、④灯油と代替燃料の調達コスト比較、⑤当該燃料を導入することのメリット・デメリット(環境への影響等)を記載してください。 また、様式1-2-1-10光熱水費相当額支払計画表中の灯油の欄は、提案にあわせて修正の上使用してください。 要求水準書の記載を「原則灯油とするが、灯油以外の提案も可とする。」に修正します。

No	文書名	タイトル	該当箇所					質問	回答
			頁	項目					
14	要求水準書	備品等整備業務	40	9				添付資料11-2新斎場で利用可能な既存備品一覧にある備品について使用する時の所有権は富山市側ですか事業者側ですか。	富山市の所有とします。
15	要求水準書	業務期間	55	1	(2)			仮設駐車場が必要な期間を6ヶ月以下となるようにとありますがその根拠を教えてください。	市が想定する最大必要期間が6か月のためです。
16	要求水準書 添付資料8	表3土壌汚染対策調査業務 結果一覧	13					結果一覧より全て基準値以下と判断されますので改めて調査の必要は無いと判断してよろしいでしょうか	再調査の要否判断については事業者に委ねます。
17	要求水準書 添付資料14	使用燃料実績						水道使用量実績についても提供頂くことは可能でしょうか。	別途公表します。
18	事業契約約款 (案)	工事の一時中止	9	29条	1			工事の全部または一部を一時中止とあるが、想定される具体的な条件、特に会葬中の工事中止の有無についてご教示願います。	状況に応じて必要性を判断しますので、具体的な条件はお示しできません。 なお、会葬時間中の工事中止を要求することは原則として予定しておりません。
19	事業契約約款 (案)	別紙7	43	3・4				消費税以外の税制度の新設・変更、それ以外の法令の新設・変更に関する事業者負担割合が100%となっていますが、想定される法令等ございましたらご教示願います。 また負担割合については「協議」とさせて頂きたい。	法人税法等が想定されます。負担割合については現在公表している事業契約約款(案)のとおりとします。
20	事業契約約款 (案)	別紙8	44	2				引渡日以降の不可抗力に関する事業者の1%負担について、施設の所有権は市にあるため、事業者負担は0%とさせて頂きたい。	現在公表している事業契約約款(案)のとおりとします。
21	その他	作業員詰所						会館棟などを工事期間中の作業員詰所等に使用することは可能ですか。	会館棟は、耐震性能の不足と老朽化により、利用者の安全が確保できないことから、平成30年度より廃止としています。 そのため、工事期間中の詰所や現場事務所としての使用は想定していません。
22	その他							要求水準書以外、既存建物に井戸水の利用があれば、用途及び使用量実績を提示頂くことは可能でしょうか。	既存建物では、火葬棟のトイレ及び噴水に井戸水を使用しています。 井戸水については、専用のメーターを設置していないため、使用量は不明です。